

巨額の新国立競技場整備費…どこに財源が？

基本設計段階

1625億円

増要因 (約1155億円)

- 消費税の増
- 建設資材や労務費の高騰
- 新国立競技場の特殊性
(屋根鉄骨、スタンド鉄骨、内外装、大量の建設発生土)

開閉式屋根など
260億円

建設費
1365億円

実施設計段階

2780億円

開閉式屋根など
260億円

屋根
950億円

スタンド
1570億円

財源見通し

財源未定
総額 2200億円

未定

確定

不明
? 億円

toto15~20年度
300~600億円?

命名権など
200億円?

都の負担
500億円?

toto13~14年度
109億円
スポーツ振興基金
125億円

国費 392億円

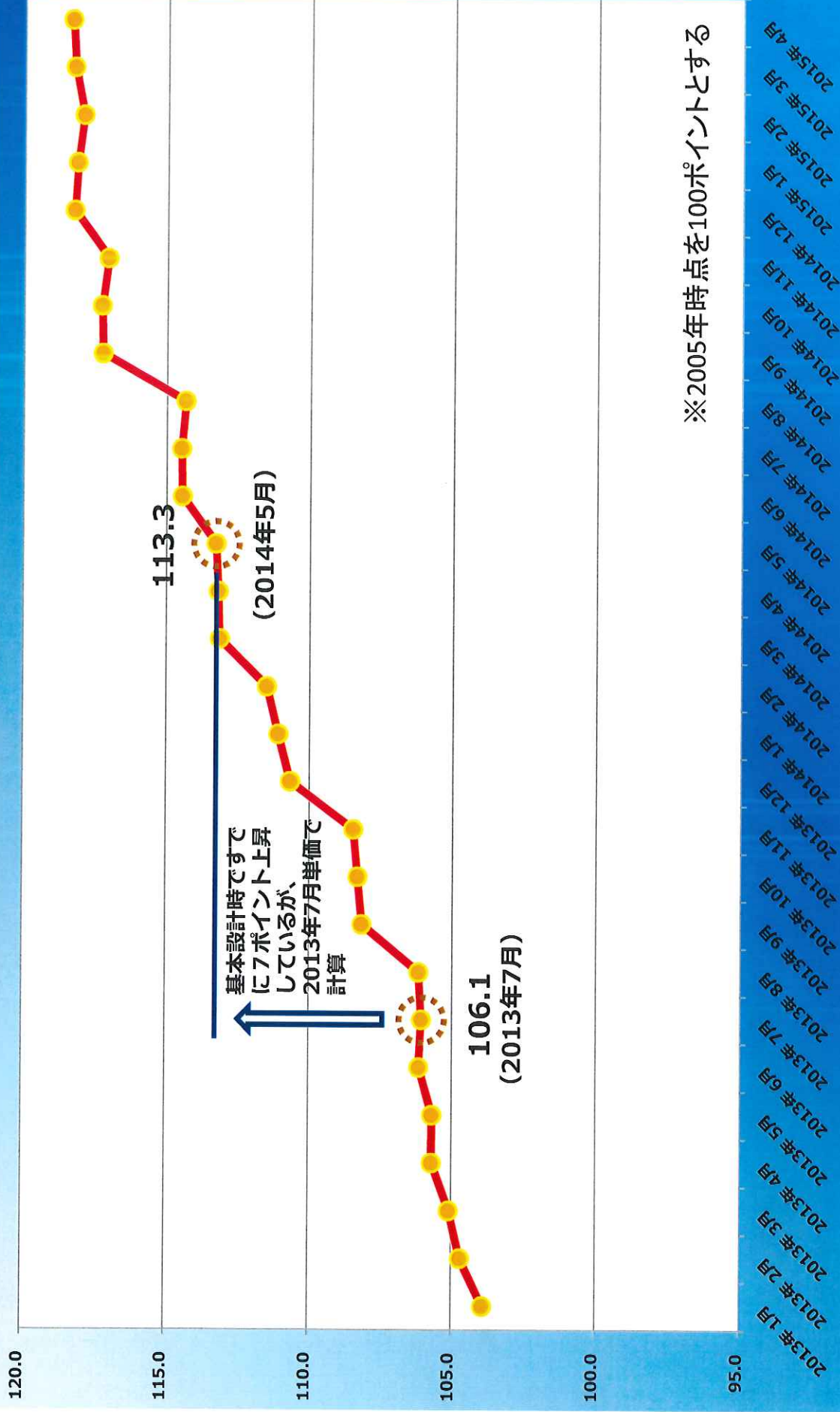
新国立競技場の特殊性

- 昨年 5 月にとりまとめた基本設計では、概算工事費約 1,625 億円と見込んでいた。これは、東京オリンピック・パラリンピック決定前の、2013 年 7 月時点の単価、消費税 5 % で試算したものである。
- しかしながら、今般、技術協力者及び設計者とともに、ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックに間に合わせることを大前提に検討を行った結果として、オリンピック・パラリンピックの東京開催決定後の建設プロジェクトの民需が予想以上に拡大し、資材や労務費が高騰する中で、①もともと大規模で、かつ難易度が高い新国立競技場の工事を受注し得る専門工事業者は限られていたところ、更に限定されることになったこと、②工期を厳守することが必須である状況の中で、専門工事業者を確実に確保することが従来にも増して難しくなったことで、工事費が一層上昇したと分析している。

出典：文部科学省 7 月 10 日蓮舫事務所提出資料 蓮舫(民主党・新緑風会)

平成 27 年 7 月 14 日(火)参議院内閣委員会・文教科学委員会連合審査会

コスト計算がなぜ価格上昇前の単価で？



出典：建設物価調査会「建設費指数（体育館・RC造）」の指数を民主党政調事務局にて作図
 平成27年7月14日（火） 参議院内閣委員会・文部科学委員会連合審査会 蓮舫（民主党・新緑風会）

2. 基本設計時からの主な変更点 (7) その他

1. ラグビーワールドカップ組織委員会、オリンピック・パラリンピック組織委員会の要望事項への対応

オリンピック・パラリンピック大会開会式等の演出に必要なキールアーチの吊り耐荷重増を設計に反映済み。
今後、対応可能なものについて、柔軟に設計変更を行う予定。

2. 壁画・銘盤・出陣学徒の碑の保存について

13壁画・銘盤・出陣学徒の碑は全て、新国立競技場敷地、もしくはその周辺に保存する。

13壁画の具体的な保存場所については、外部有識者等のご意見を踏まえつつ、ご遺族に配慮しながら検討していく。



刻々と変わる収支見込…跳ね上がる赤字…

発表時期	収支見込	収支見込 + 年間改修費
平成25年12月	+4.4億円 -1.1億円	-9.4億円 -0.9億円
平成26年7月	+3.3億円 -2.9億円	-10.3億円 -10.3億円
平成27年7月	+3800万円	-20.6億円

○独立行政法人日本スポーツ振興センター 中期計画（抄）

Ⅷ その他文部科学省令で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画

別表－１９のとおり

施設整備・管理の実施に当たっては、業務実施上の必要性及び施設の老朽化が進行していることにかんがみ、長期的視野に立った整備計画を策定し、計画的に国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）等の施設整備を推進する。

また、利用者本位の立場から施設整備を進めることとし、特に障がい者等の利便性の向上を図るよう努める。さらに、施設の管理運営に当たっては、維持保全を確実に実施することにより、利用者の安全の確保に万全を期する。

２０１９年ラグビーワールドカップ日本開催及び２０２０年オリンピック・パラリンピック東京開催等を踏まえた国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）の改築については、

・改築その他関連する経費について、実施設計作業を通じて、真にやむを得ない場合を除き現在の見積金額総額を超えないよう、引き続き精査を行うこと

特に、各種の付属施設については、事業の効果や運営収支への影響を考慮した上で、規模を圧縮して事業内容を精査し、可能な限り経費を縮減すること

なお、改築その他関連する経費のうち「真にやむを得ない場合」に当たらない経費については、原則として追加は認められず、厳に必要性を精査した上で、最小限の経費のみを国費以外の財源で賄うこと

・周辺整備に加え、競技場本体についても東京都によるオリンピック・パラリンピック招致に伴いコスト増加が見込まれることを勘案した上で、その資金負担についての国、東京都及び関係者間の合意

・改築後の競技場について、適切な運営収支となるよう民間のノウハウを取り入れた運営方法を検討すること等により、運営コスト縮減のための最大限の合理化に取り組むとともに、ネーミングライツ導入や大規模スポーツイベントの回数増加等の様々な収入確保策の検討を行うこと

なお、実際の収支が計画よりも悪化した場合、その差額については自主財源により賄うこと

を踏まえ、実施するものとする。

なお、平成25年度補正予算（第1号）により追加的に措置された運営費交付金については、「好循環実現のための経済対策」（平成25年12月5日閣議決定）の「オリンピック・パラリンピック施設の整備等」のために措置されたことを認識し、国立霞ヶ丘競技場の改築に向けた対応に資する経費に充てる。国立霞ヶ丘競技場の整備等に必要業務（上記の補正予算により措置された事業を含む。）の実施に当たっては、適切な実施体制の下で計画的に行うとともに、定期的に文部科学省に報告し、文部科学省から改善を求められた場合には、これに適切に対応する。

平成27年7月14日(火)参議院内閣委員会・文教科学委員会連合審査会 蓮舫(民主党・新緑風会)

出典:日本スポーツ振興センター

数字が合わない…整備コスト概算削減額

	立候補ファイル 上の整備費	資材高騰などの 影響を受けた 整備費 (①)	削減後の整備費 (②)	削減額 (①-②)
 バスケットボール	369億	?	?	▲860億
 バドミントン				
 カヌー (スラローム)	32億	?	?	▲40億
 馬術	35億	なぜか? 公表されない	?	▲100億
 水球	76億			▲140億
 テコンドー	26億	削減前の整備費	?	▲160億
 レスリング				
 フェンシング				
 セーリング	100億	?	?	▲400億
合計額	638億	→		▲1700億

にはラグビーワールドカップ二〇一九を別の場所で開催することにより工期を延ばし、キールアーチを設置しないというものでありました。楨グループの御提言については、JSCにおいて設計者から意見を聴取するとともに、私自身も楨氏らに直接話を伺い、また、JSCや施工業者だけでなく、**第三者的な立場の業者やゼネコン関係者からも広く客観的な御意見を伺うなど、真摯に検討してまいりました。**

その結果、仮にデザインを全く新しいものに変えるとした場合、設計者の随意契約、施工者の技術提案交渉方式による選定を前提としたとしてもつまりこれが最短でできるやり方であり、設計開始から竣工までの所要期間は二〇二〇年六月末までの六十一か月、五年一か月、今年の七月から、今月から起算するとすると、二〇二〇年の七月末までということになってしまっていて、ラグビーワールドカップ二〇一九には間に合わない、オリンピック・パラリンピックもぎりぎり間に合うかどうか分からない、こういう状況があるということが分かりました。

国立競技場の改築は今後五十年から百年を見据え、国際競技大会を継続的に招致、開催するためには東京の都心に八万人規模のスタジアムを造る必要があるという基本的な考え方に立っているということ、また、見直しを行った場合、設計やデ

ザインに係る権利に関し紛争となり、建設計画がストップするリスクもあると考えられることから採用することができないというふうに判断したところであります。

○斎藤嘉隆君 いや、そのことは分かっていますけれども、であればもう少し早い段階でなぜそういう判断をしなかったのかというのが多くの国民の皆さんの疑問であるというふうに思います。通常、建設に関わっていらっしゃる方、まあ業者さんも含めて、だから、誰でも何かものをつくるときは予算があつて、その予算に基づいて設計をして、そして契約をして施工をする。当然のことでありましてけれども、その当然のことがなされていないので、多くの国民が一体どうなっているんだということを疑問に思っているわけですよ。

当初、千三百億のプレゼンというかコンペをして、そしてそれがザハさんのデザインの採用が決まって三千億円に膨れ上がるということで、もう一回縮小をして千六百二十五億になった。それが一年前に試算をし直し千六百二十五億とした施設が、一年後には二千五百二十億ということになっています。しかも、この二千五百二十億には、以前の千六百二十五億には含まれていた先ほどの開閉式の遮音装置とか電動式の可動席とか芝の養生装置とか、こういうものも一切入っていないわけです。実は千六百二十五億が二千五百二十億に

なったのではなくて、千三百六十五億が二千五百二十億に膨れ上がっている。八五%ですよ、見積りのアップが。

建設の特殊性に七百数十億とか、建設資材の高騰に三百五十億とか、そういうことを御説明をされていらっしゃるようですが、昨年の基本設計時にそんなこと分かっていたんじゃないですか。キールアーチも含めて、これは特殊な建設だというのは誰が見ても分かるところで、今回の実際の辺りのことは全く分かっていなくて、今回の実設計の段階になってこの特殊性、これは特殊な建設だよ、だからたくさん費用が掛かるんだよ、七百六十億も掛かるんだよと、こんなことがこの段階で本当に分かったんですか。鬼澤さん、いかがですか。

○参考人（鬼澤佳弘君） 御指摘のとおり、昨年五月に取りまとめました基本設計時におきましては、概算工事費約一千六百二十五億円と見込んでおりました。これは東京オリンピック・パラリンピック決定前の二〇一三年七月時点での単価及び消費税五%で試算したものでございます。その時点において消費税の増加、あるいは新国立競技場の特殊性については認識してございました。

しかしながら、今般、技術協力者及び設計者とともにラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピック大会に間に合わせることを大前提

ことごとく変わるコンセプト

基本設計（概要）

1. コンセプト（3）スタジアムの特徴

先端技術を駆使した芝生成システム

臨場感を高める伸縮型稼働スタンド

観客の快適性を高めるスタンド空調

世界水準のホスピタリティ施設

施設利用率を高める開閉式遮音装置（屋根）

商業文化施設

安全性の高い免震構造スタジアム

ユニバーサルデザイン

先送り！

設計変更！

仕様変更！

先送り！

赤字拡大！

1625億円だった整備費は…

結果、2780億円へ！

ザハ・ハディド アーキテクトのデザインを破棄する場合の損失金等

(1) デザイン破棄に伴う支払金等

デザイン監修業務の中止に伴い、ザハ・ハディド アーキテクト（以下「ザハ事務所」）との間に締結した デザイン監修契約に基づき、以下の支払金が発生

- ①当該中止日までに提供された業務に相当する Fees
- ②業務中止、スタッフの解散のための追加費用

(2) 損害賠償請求の可能性

オリンピックスタジアムのデザインを手がけた実績を失うこと等に対する 損害賠償を訴求される可能性（金額は、訴求内容により異なるため予測不能）

【参考】Zaha に対するこれまでの契約内容

支出項目	金額
基本構想デザイン案の模型作製等	7,223,995 円
フレームワーク設計に関するデザイン監修業務	200,000,000 円
基本設計に関するデザイン監修業務	170,000,000 円
実施設計に関するデザイン監修業務	930,000,000 円
施工段階におけるデザイン監修業務	170,000,000 円
計	1,477,223,995 円

その他の支出

支出項目	金額
賞金	20,000,000 円

平成27年7月14日(火)参議院内閣委員会・文教科学委員会連合審査会 蓮舫(民主党・新緑風会)

出典:文部科学省 7月10日蓮舫事務所提出資料